

夏のこどもワークショップ 2025年8月2日(土)、8月3日(日)

トキヨーホームアンドスペースレジデンシー

はくうきてききょくせつじきの積極的空白

なんにもしないをかたちにする

里格木對

なんにもしないは
無駄なこと?

時間

— 10:00 → 12:30

対象

— 小学3年生以上(大人も歓迎)
※小学生は保護者が付き添いのうえご参加ください。

定員 — 各回10名程度 参加費 — 無料

持ち物 — タオル、作品を持ち帰る袋
※汚れてもよい服でお越しください。
※30分程度屋外での作業があります。熱中症対策として帽子や飲み物をお持ちください。
申込方法 — 事前予約制・抽選「申込受付期間 6月19日(木) — 7月2日(水)」

主催 — トキヨーホームアンドスペース(公益財團法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館) 後援 — 墨田区

A
Tokyo
Arts and Space

つなぐTOKAS

2025年のトーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)「夏のこどもワークショップ」は、アーティストの対木裕里さんを講師に迎え、彫刻のプログラムを実施します。みなさんは、「彫刻をつくる」ということにどのようなイメージを持っていますか?このワークショップでは、石膏という素材を使って「なんにもしない」で作品をつくってみます。なんにもしないからこそできるかたち、心に浮かぶことをじっくり眺めてみましょう。

作家の言葉

わたしの彫刻に用途はなく、人によっては意味も感じないかもしれません。しかし、なんだかわからないものを目の前に置くことで、そこに本来あったもの、あるいは隠れていたことが浮かび上がることがあります。そうやって「空白」を抱えながら立ち上がるものがわたしにとっての彫刻です。今回は直接触れずに(なんにもせずに)かたちをつくることをしてみたいと思います。そこに現れたものにはやっぱり用途も意味もありませんが、そこにはあなただけの「空白」があります。[対木裕里]

PROFILE

1987年神奈川県生まれ。東京都を拠点に活動。2011年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。主な展覧会に「Fill & Light」(師岡製作所、さいたま、2024)「ばらばらの速度」(横浜市民ギャラリーあざみ野、2021)、「手のたびでは いっておいで」(神奈川県民ホール、横浜、2021)など。これまでに「分身彫刻と海を見よう!」(横須賀美術館、神奈川、2024)、「美術館にお手を触れよう!景色のなかのわたしたちの手」(国立新美術館、東京、2023)などのワークショップを開催。

申込方法

受付期間: 2025年6月19日(木)~7月2日(水)
※抽選結果は7月9日(水)頃までにお知らせします。

TOKASウェブサイトの「積極的空白 なんにもしないをかたちにする」ページにある予約フォームに必要事項を入力のうえお申込みください。

※予約受付後すぐに、予約確認メールを配信します(自動返信)。
24時間以上過ぎても確認メールが来ない場合は、お問い合わせのメールアドレスまでご連絡ください。

会場

トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー

住所: 130-0023 東京都墨田区立川2-14-7-1F

TEL: 03-5625-4433(当日のみ)

菊川駅(都営地下鉄新宿線)A1出口より徒歩9分

森下駅(都営地下鉄新宿線・大江戸線)A5出口より徒歩11分

両国駅(JR総武線: 東口/都営地下鉄大江戸線:A5出口)より徒歩15分

※駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

お問い合わせ

トーキョーアーツアンドスペースオフィス

住所: 135-0022 東京都江東区三好4-1-1

東京都現代美術館内

TEL: 03-5245-1142 ※平日のみ(10:00~18:00)

Email: workshop2025@tokyoartsandspace.jp

※ワークショップ当日は会場までお問い合わせください。

www.tokyoartsandspace.jp/

